



### 安全就業優良シルバー人材センターの取組み

### （社）出水市シルバー人材センター

（社）出水市シルバー人材センターでは、会員理事一名、各職群代表者八名、担当職員一名の計十名で「安全・適正就業対策推進委員会」を構成し、センター事業の最優先事項である「事故ゼロ・けがゼロ」を目指し、日々活動を行っています。

主な活動として、毎年七月上旬に安全大会を開催し、安全祈願祭・安全標語の発表と表彰・交通安全教室・健康講座等を行い、会員の意識向上に努めています。

また、委員二人ずつが交替で安全

パトロールを年間十五回程度実施しており、各現場で会員への注意を呼びかけております。

年四回開かれる委員会においては、各就業現場の安全に対する取り組み方法や事故原因の検討、今後の対策について話し合う貴重な場となっております。

このような地道な活動を続ける中、ここ数年は事故の件数も減少傾向にあります。しかし、「事故ゼロ・けがゼロ」という目標は未だに達成できていません。会員一人ひとりの自覚がまだまだ足りないと感じています。

この度、安全就業優良センターとして表彰されたことは大変ありがたく喜ばしいことですが、優良センターの名に恥じぬよう、今まで以上に役員・各会員一体となって「事故ゼロ・けがゼロ」という大きな目標に向かって頑張っていきたいと思っております。

### 東串良町 シルバー人材センター

東串良町シルバー人材センターは、設立以来十三年が経過致しますが、幸いにも重篤事故がなく、事故

発生も少なく推移しております。会員の皆さんの安全就業意識の高さの賜でしょう。

また、この度は二十二年度の安全就業優良センターとして表彰の栄を賜りました。ありがとうございます。当センターの事業運営は安全就業を最優先課題として事業の活動に努めております。特に事故の未然防止策として可能な限り現場へ出向き安全確認・指導をしています（刈払機を使う現場 植木・樹木の剪定・伐

採の現場等）。

また、高所作業は依頼者と話し合いをしてお断りをしたり、次からの作業を考慮して作業可能な高さに調整させてもらっています。

今後も県連の皆様や役員の皆様の指導をいただきながら、会員の皆さんが明るく楽しく働いていただくことが家族の皆さんの幸福にもつながります。

皆様のセンターが無事故で益々発展します事を祈念致します。

### 熱中症に注意しましょう

熱中症は、炎天下の屋外のほか、高温多湿の屋内でも汗をかいて水分や塩分が過度に失われることで起こります。頭痛・吐き気・めまい・けいれん等を引き起こし、ひどい場合は意識を失ったり、死亡したりする危険性があります。

熱中症の予防には、次のことが有効です。  
（注）夏以外でも高温多湿の環境下であれば熱中症の恐れがあります。

#### こまめに水分・塩分をとる

○水分と塩分は汗で失われてしまいます。仕事を始める前からこまめにスポーツドリンクや食塩水（0.1〜0.2%、コップ1杯に対し食塩はひとつまみの半分くらい）等で補給します。

#### 休憩は風通しの良い涼しい場所で

睡眠不足・疲労は大敵  
○寝不足や二日酔いなどは熱中症のもとです。  
○暑くて食欲が落ちる時期でも、食事をしっかりとることが大切です。

#### できるだけ涼しい服装を

○仕事の安全衛生に問題がなければ、綿等の通気性・吸湿性の良い生地で、明るい色調の風通しのよい服装で仕事をしてください。  
○直射日光の当たる屋外での仕事には、つばの広い帽子も有効です。

#### 次のような症状は熱中症の危険信号です。

- 吐き気がする ●反応が鈍る
- 頭が痛い ●言動がおかしい
- 呼吸が速い ●脈が速く、弱い
- 唇がしびれる ●めまいがする
- 筋肉に痛みとけいれんがある

人間は、体温が四十二℃以上になると生命を維持することはできません。熱中症だと思ったら、すぐに救急車を呼ぶか医者に診てもらいましょう。

#### 熱中症の予防

- ① 水分をこまめに取る
- ② 休憩時は日陰で
- ③ 睡眠不足・疲労は大敵
- ④ できるだけ涼しい服装で